

四半期報告書

(第37期第2四半期)

自 平成29年7月1日

至 平成29年9月30日

不二サッシ株式会社

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	5
(7) 議決権の状況	5
2 役員の状況	6

第4 経理の状況	7
----------------	---

1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
2 その他	16

第二部 提出会社の保証会社等の情報	17
-------------------------	----

[四半期レビュー報告書]

[確認書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年11月8日
【四半期会計期間】	第37期第2四半期（自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日）
【会社名】	不二サッシ株式会社
【英訳名】	FUJISASH CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 吉田 勉
【本店の所在の場所】	神奈川県川崎市幸区鹿島田一丁目1番2号（新川崎三井ビルディング）
【電話番号】	大代表（044）520-0034
【事務連絡者氏名】	管理本部経営管理部長 塩原 和己
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区西五反田四丁目32番1号（東京日産西五反田ビル2号館）
【電話番号】	代表（03）6867-0777
【事務連絡者氏名】	管理本部経営管理部長 塩原 和己
【縦覧に供する場所】	不二サッシ株式会社 東京支店 （東京都品川区西五反田四丁目32番1号（東京日産西五反田ビル2号館）） 不二サッシ株式会社 大阪支店 （大阪府大阪市浪速区湊町一丁目4番38号（近鉄新難波ビル）） 不二サッシ株式会社 関東支店 （埼玉県さいたま市浦和区北浦和四丁目5番5号（北浦和大栄ビル4階）） 不二サッシ株式会社 名古屋支店 （愛知県名古屋市東区泉一丁目9番22号（名古屋BXビル7階）） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第36期 第2四半期 連結累計期間	第37期 第2四半期 連結累計期間	第36期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (百万円)	40,746	40,288	94,322
経常利益又は経常損失 (△) (百万円)	620	△390	2,368
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失 (△) (百万円)	311	△193	4,350
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	443	12	5,251
純資産額 (百万円)	12,764	17,460	17,574
総資産額 (百万円)	80,657	88,640	85,467
1株当たり四半期(当期)純利 益金額又は1株当たり四半期純 損失金額 (△) (円)	2.47	△1.54	34.47
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	15.7	19.5	20.4
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,300	△228	5,122
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△2,827	△1,094	△4,565
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△211	△377	△274
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	11,793	11,124	12,823

回次	第36期 第2四半期 連結会計期間	第37期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.49	3.37

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定、又は、締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、新設住宅着工戸数は概ね堅調に推移していますが、マンション販売戸数低迷など先行き不透明な状況が続いています。また、形材外販事業においては、国内の物量は回復傾向にありますが、アルミ地金市況変動の影響などから、収益力が低下しました。環境事業においては、売上は減少しましたが、プロセス管理の徹底により収益力は改善しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高402億8千8百万円（前年同四半期比1.1%減）、営業損失2億9千万円（前年同四半期は営業利益9億2千9百万円）、経常損失3億9千万円（前年同四半期は経常利益6億2千万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億9千3百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益3億1千1百万円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

〔建材〕

建材事業においては、短納期物件等の取り込みや住宅建材事業での取扱商品を拡充しましたが、ビル建材事業の競争激化から、売上高は275億8千万円（前年同四半期比2.8%減）、設備投資等の固定費増加などもありセグメント利益2億1千6百万円（前年同四半期比10億5千2百万円減）と減収減益になりました。

〔形材外販〕

形材外販事業においては、国内需要の増加やアルミ地金市況上昇などにより、売上高102億9千1百万円（前年同四半期比3.3%増）と増収になりましたが、アルミ地金市況変動の影響などからセグメント利益9千6百万円（前年同四半期比1億8千6百万円減）と減益になりました。

〔環境〕

環境事業においては、下期売上の工事が多いことなどから、売上高は14億6千7百万円（前年同四半期比4.9%減）と減収になりましたが、営業プロセスの効率化の推進などにより、セグメント利益6千1百万円（前年同四半期比3千8百万円増）と増益になりました。

〔その他〕

その他事業には、運送業・不動産業・LED事業等がありますが、売上高は9億4千8百万円（前年同四半期比8.4%増）と増収になりました。セグメント利益は3千1百万円（前年同四半期比1千3百万円減）と減益になりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ16億9千9百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には111億2千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、2億2千8百万円（前年同期は23億円の獲得）となりました。これは主にたな卸資産の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、10億9千4百万円（前年同期は28億2千7百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、3億7千7百万円（前年同期は2億1千1百万円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、7億1千8百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	157,000,000
計	157,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数（株） （平成29年9月30日）	提出日現在発行数 （株） （平成29年11月8日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	126,267,824	126,267,824	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	126,267,824	126,267,824	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 （千株）	発行済株式 総数残高 （千株）	資本金増減額 （百万円）	資本金残高 （百万円）	資本準備金 増減額 （百万円）	資本準備金 残高 （百万円）
平成29年7月1日～ 平成29年9月30日	—	126,267	—	1,709	—	791

(6) 【大株主の状況】

平成29年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
文化シャッター株式会社	東京都文京区西片 1-17-3	29,626	23.46
大栄不動産株式会社	東京都中央区日本橋室町 1-1-8	5,349	4.24
蛇の目ミシン工業株式会社	東京都八王子市狭間町1463	2,100	1.66
株式会社SBI証券	東京都港区六本木 1-6-1	1,946	1.54
株式会社りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町 2-2-1	1,857	1.47
大日メタックス株式会社	福井県福井市森行町 2-5	1,530	1.21
不二サッシ社員持株会	神奈川県川崎市幸区鹿島田 1-1-2	1,500	1.19
三井物産株式会社	東京都千代田区丸の内 1-1-3	1,474	1.17
株式会社埼玉りそな銀行	埼玉県さいたま市浦和区常盤 7-4-1	1,438	1.14
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町 1-4	1,000	0.79
計	—	47,823	37.88

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 70,800	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 125,996,800	1,259,968	—
単元未満株式	普通株式 200,224	—	—
発行済株式総数	126,267,824	—	—
総株主の議決権	—	1,259,968	—

②【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（％）
不二サッシ株式会社	神奈川県川崎市幸区鹿島 田一丁目1番2号（新川 崎三井ビルディング）	70,800	—	70,800	0.06
計	—	70,800	—	70,800	0.06

- （注） 1. 上記のほか株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,500株あります。
（昭和56年10月1日に吸収合併した不二サッシ販売株式会社名義900株を含む。）なお、当該株式は上記
「①発行済株式」の「完全議決権株式（その他）」に1,500株含まれております。
2. 上記のほか株主名簿上は関係会社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が100株あります。
なお、当該株式は上記「①発行済株式」の「完全議決権株式（その他）」に100株含まれております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,501	11,804
受取手形及び売掛金	18,498	※1 17,398
商品及び製品	1,064	1,104
仕掛品	12,281	16,973
原材料及び貯蔵品	2,603	3,157
販売用不動産	415	380
繰延税金資産	136	150
その他	※3 1,623	※3 1,931
貸倒引当金	△586	△635
流動資産合計	49,538	52,265
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	※4 37,540	※4 37,679
減価償却累計額及び減損損失累計額	△30,173	△30,225
建物及び構築物（純額）	7,366	7,453
機械装置及び運搬具	※4 41,917	※4 41,851
減価償却累計額及び減損損失累計額	△37,396	△37,014
機械装置及び運搬具（純額）	4,520	4,837
土地	13,393	13,397
リース資産	2,394	2,244
減価償却累計額	△725	△676
リース資産（純額）	1,669	1,568
建設仮勘定	240	202
その他	※4 12,757	※4 12,189
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,716	△11,218
その他（純額）	1,041	971
有形固定資産合計	28,231	28,429
無形固定資産		
その他	193	307
無形固定資産合計	193	307
投資その他の資産		
投資有価証券	2,223	2,429
長期貸付金	29	27
繰延税金資産	3,644	3,576
その他	2,683	2,772
貸倒引当金	△1,077	△1,167
投資その他の資産合計	7,503	7,638
固定資産合計	35,929	36,375
資産合計	85,467	88,640

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,381	※1 18,537
短期借入金	10,648	10,558
1年内償還予定の社債	600	600
リース債務	268	256
未払法人税等	724	149
前受金	7,518	11,049
工事損失引当金	303	333
資産除去債務	212	271
その他	4,164	3,049
流動負債合計	41,822	44,805
固定負債		
社債	4,100	3,800
長期借入金	4,876	5,302
リース債務	1,551	1,458
繰延税金負債	26	21
再評価に係る繰延税金負債	417	413
退職給付に係る負債	14,397	14,623
資産除去債務	205	378
その他	496	375
固定負債合計	26,071	26,374
負債合計	67,893	71,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	816	816
利益剰余金	14,479	14,159
自己株式	△8	△9
株主資本合計	16,996	16,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	663	809
繰延ヘッジ損益	—	4
土地再評価差額金	1,491	1,505
為替換算調整勘定	△318	△395
退職給付に係る調整累計額	△1,382	△1,286
その他の包括利益累計額合計	454	636
非支配株主持分	123	147
純資産合計	17,574	17,460
負債純資産合計	85,467	88,640

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	40,746	40,288
売上原価	33,441	34,183
売上総利益	7,304	6,104
販売費及び一般管理費	※2 6,374	※2 6,395
営業利益又は営業損失(△)	929	△290
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	46	56
受取保険金	0	0
受取賃貸料	14	16
持分法による投資利益	10	—
電力販売収益	71	89
為替差益	—	27
その他	29	30
営業外収益合計	181	229
営業外費用		
支払利息	194	123
手形売却損	6	5
持分法による投資損失	—	4
電力販売費用	41	69
為替差損	160	—
その他	87	126
営業外費用合計	490	329
経常利益又は経常損失(△)	620	△390
特別利益		
固定資産売却益	3	268
補助金収入	14	—
特別利益合計	17	268
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	14	0
損害賠償金	—	33
その他	0	—
特別損失合計	15	34
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	622	△156
法人税等	307	20
四半期純利益又は四半期純損失(△)	315	△176
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	17
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	311	△193

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	315	△176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	145
繰延ヘッジ損益	—	4
土地再評価差額金	—	13
為替換算調整勘定	72	△70
退職給付に係る調整額	130	96
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	127	189
四半期包括利益	443	12
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	453	△11
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	24

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	622	△156
減価償却費	906	1,245
持分法による投資損益 (△は益)	△10	4
受取利息及び受取配当金	△54	△64
支払利息	194	123
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△268
固定資産除却損	14	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	91
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△24	29
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	329	358
売上債権の増減額 (△は増加)	3,438	1,201
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,614	△5,222
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,440	1,144
前受金の増減額 (△は減少)	2,602	3,531
その他	△157	△1,633
小計	2,794	384
利息及び配当金の受取額	56	64
利息の支払額	△189	△124
法人税等の支払額	△361	△552
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,300	△228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200	△12
定期預金の払戻による収入	143	25
有形固定資産の取得による支出	△2,720	△1,318
有形固定資産の売却による収入	5	223
無形固定資産の取得による支出	△49	△143
投資有価証券の取得による支出	△6	△9
その他	0	139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,827	△1,094
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△216	△310
長期借入れによる収入	1,150	1,900
長期借入金の返済による支出	△1,692	△1,402
セール・アンド・リースバックによる収入	1,015	—
その他	△468	△563
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211	△377
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△752	△1,699
現金及び現金同等物の期首残高	12,545	12,823
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 11,793	※1 11,124

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。
 なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が
 四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成29年 9 月30日)
受取手形	一百万円	990百万円
支払手形	一	1,437

2 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成29年 9 月30日)
受取手形割引高	541百万円	436百万円
受取手形裏書譲渡高	113	97

※ 3 手形債権流動化

手形債権の一部を譲渡し債権の流動化を行っております。
 なお、受取手形の流動化に伴い、信用補完目的の留保金額を流動資産「その他」に含めて表示しております。

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成29年 9 月30日)
受取手形の流動化による譲渡高	1,423百万円	508百万円
信用補完目的の留保金額	246	76

※ 4 国庫補助金等の受領により、固定資産の取得価額から控除した圧縮記帳累計額

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成29年 9 月30日)
建物及び構築物	132百万円	132百万円
機械装置及び運搬具	618	618
その他	91	91
計	843	843

(四半期連結損益計算書関係)

1 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日) 及び当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)

当社グループでは、売上計上が 9 月及び 3 月に集中することから、第 2・第 4 四半期の売上高の割合が高くなる傾向があり、業績に季節的変動があります。

※ 2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)
給料手当	2,387百万円	2,457百万円
貸倒引当金繰入額	11	96
退職給付費用	234	225

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
現金及び預金勘定	12,587百万円	11,804百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△794	△679
現金及び現金同等物	11,793	11,124

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	126	1	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月29日 定時株主総会	普通株式	126	1	平成29年3月31日	平成29年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	28,367	9,960	1,543	39,871	874	40,746
セグメント間の内部売上高又は 振替高	12	3,418	—	3,431	1,151	4,582
計	28,380	13,379	1,543	43,302	2,026	45,328
セグメント利益	1,269	283	23	1,575	45	1,621

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」、「LED商品」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,575
「その他」の区分の利益	45
セグメント間取引消去	55
全社費用（注）	△746
四半期連結損益計算書の営業利益	929

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 （注）	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	27,580	10,291	1,467	39,340	948	40,288
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	3,419	—	3,421	1,152	4,573
計	27,582	13,711	1,467	42,762	2,100	44,862
セグメント利益	216	96	61	374	31	405

（注） 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」、「LED商品」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	374
「その他」の区分の利益	31
セグメント間取引消去	62
全社費用（注）	△759
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△290

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	2円47銭	△1円54銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額(△) (百万円)	311	△193
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額(△)(百万円)	311	△193
普通株式の期中平均株式数(千株)	126,195	126,197

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月 2 日

不二サッシ株式会社

取締役会 御中

東陽監査法人

指 定 社 員
業務執行社員 公認会計士 中塩 信一 印

指 定 社 員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 裕子 印

指 定 社 員
業務執行社員 公認会計士 菊地 康夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二サッシ株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二サッシ株式会社及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年11月8日
【会社名】	不二サッシ株式会社
【英訳名】	FUJISASH CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 吉田 勉
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	神奈川県川崎市幸区鹿島田一丁目1番2号（新川崎三井ビルディング）
【縦覧に供する場所】	不二サッシ株式会社 東京支店 （東京都品川区西五反田四丁目32番1号（東京日産西五反田ビル2号館）） 不二サッシ株式会社 大阪支店 （大阪府大阪市浪速区湊町一丁目4番38号（近鉄新難波ビル）） 不二サッシ株式会社 関東支店 （埼玉県さいたま市浦和区北浦和四丁目5番5号（北浦和大栄ビル4階）） 不二サッシ株式会社 名古屋支店 （愛知県名古屋市東区泉一丁目9番22号（名古屋B Xビル7階）） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長吉田 勉は、当社の第37期第2四半期（自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。